



写真15 天井のすす払い



写真16 石灰塗布



写真17 整理整頓

### 事例⑥「泥ねい化したら丁寧に掃除を」

パドックや牛道は、雨や糞尿で泥ねい化します。定期的な糞尿の掃除、火山灰の投入、排水路の整備等を行い、牛体が汚れることを防ぎましょう（写真18・19・20）。



写真18 パドックに火山灰を投入

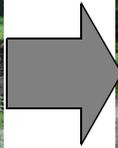


写真19 投入後



写真20 整備された放牧地への牛道

### 事例⑦「毛焼きするなら、今でしょ！」

乳房の毛が伸びていると、汚れが付きやすく、落ちづらくなります。毛焼き又は毛刈りをする事で、汚れを付きにくくしましょう（写真21）。

#### 【重要】毛焼きをするときの注意点

- ・ガスバーナー又はガストーチの空気量を減らし、温度の低い「オレンジ色」の炎で毛焼きします（青い炎は温度が高すぎます）。
- ・敷料など周辺の燃えやすいものを必ず除去し、乳房に付いた糞なども落としておく必要があります。
- ・火事、火傷、牛に蹴られることによる怪我にはくれぐれも注意して下さい。
- ・作業に集中しすぎて周囲の状況が見えづらくなるので複数人で作業を行って下さい



写真21 乳房の毛焼き

## (2) タイストール

### 事例⑧「きれいな牛は、きれいな尻尾から」

尻尾からの汚れを防ぐため、尻尾を吊ることは効果的です（写真22）。バークリナーや通路に尻尾が触れることを防ぎます。



写真22 尻尾を吊る

### 事例⑨「糞尿が飛散したら悲惨です」

通路に落ちた糞尿が跳ね返り、乳房を汚す可能性があります。通路に敷料や残飼を置くと、糞尿の飛散を防ぐことができます（写真23）。



写真23 通路に敷料を置く

### 事例⑩「カウトレーナーをつカウト、エーナー（使うと、良いなー）」

バンククリーナーに糞尿を落とすようカウトレーナーで調整することは、牛床を汚さないために有効です。牛と牛の間にカウトレーナーを増設することにより、牛が牛床に対して斜めに立つことを防いでいる事例があります（写真24）。さらにこの事例では、カウトレーナーに針金をつけることで、牛（癖の悪い牛）が立つ位置を微調整していました（写真25）。



写真24 牛と牛の間にも設置



写真25 針金により微調整

## （3）フリーストール

### 事例⑪「スクレーパーを回して糞尿の量を少なくスレーパー」

スクレーパーを設置している場合、稼働回数を増やすことで通路に溜まる糞尿の量を減らすことができます。また、スクレーパーに溜まる糞尿も少なくなるので、通路に立っていてスクレーパーをまたぐ牛の足が汚れも少なくなります（写真26）。



写真26 糞尿の池で足が汚れる

### 事例⑫「ギュウギュウだと牛体が汚れちゃうよ」

牛舎内に牛が過密になると、牛床や通路に溜まる糞尿も増え、牛体が汚れやすくなります（写真27）。カウコンフォート（乳牛の安楽性）を向上させるためにも、1頭あたりのスペースは適切な広さを確保しましょう（写真28）。



写真27 過密な牛舎内



写真28 広々とした牛舎内

3 これを目指そう「美しい牛体10景」



**牛体がきれいであることは  
搾乳作業のしやすさにもつながります**